

## 児童虐待による死亡事例等調査検証報告書について

### 事例1 大和市内で発生したきょうだい死亡事例

#### 1 主な指摘事項

- ・母親による子どもの養育について、日常的に問題となる点を見出すことが難しかったため、突発的に発生する重大事態を予見することは極めて難しかった。
- ・第一子、第二子の死亡に関する情報が少なかったことが、第三子、第四子への支援や対応に影響を与えた。
- ・家庭裁判所が28条申立を却下したことに對し、児童相談所が抗告せず実父母と協働関係を築こうとしたことは、とり得る選択の一つであって、一概に抗告すべきであったとは言えない。

#### 2 提言

- ・児童相談所が必要な情報を迅速に得られる仕組みづくり（国への提言）
- ・裁判所における福祉的視点の強化（国への提言）
- ・関係機関との相互理解を図るための積極的な連携強化 など

### 事例2 厚木市内で発生した車内放置によるきょうだい死亡事例

#### 1 主な指摘事項

- ・児童相談所は、緊急性が高いとは認識していなかったが、生命に関わる危険な行為として、強い危機感をもって対応する必要があった。
- ・児童相談所は、緊急性の高い他の事例を優先したが、車内放置の重篤性などを鑑み、通告受理後、速やかに保護者と接触を図るべきであった。
- ・車内放置は、大事故につながる可能性もあるが、安易な気持ちで繰り返されている実態があり、社会全体で危機意識を高めていく取組が必要である。

#### 2 提言

- ・乳幼児の車内放置に対するリスクアセスメントの見直し
- ・車内放置ゼロに向けた社会全体での取組
- ・警察との情報共有・連携の強化 など

## 【参考】

### 事例 1

#### (委員構成)

氏名	分野	役職名
岩佐 嘉彦	弁護士	いぶき法律事務所
※川松 亮	学識者	明星大学人文学部福祉実践学科 教授
田中 哲	医師	子どもと家族のメンタルクリニック やまねこ 院長
中板 育美	学識者	武蔵野大学看護学部 教授
増沢 高	学識者	社会福祉法人横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター 副センター長

※委員長

#### (開催状況)

	開催日		開催日
第1回	令和4年4月28日(木)	第5回	令和4年10月4日(火)
第2回	令和4年6月7日(火)	第6回	令和4年11月29日(火)
第3回	令和4年7月21日(木)	第7回	令和4年12月22日(木)
第4回	令和4年8月18日(木)	第8回	令和5年2月1日(水)

### 事例 2

#### (委員構成)

氏名	分野	役職名
新井 聡子	弁護士	神奈川県弁護士会
※荒木田 美香子	学識者	川崎市立看護大学 副学長
後藤 彰子	医師	神奈川県児童福祉審議会委員 小児科医
増沢 高	学識者	社会福祉法人横浜博萌会 子どもの虹情報研修センター 副センター長

※委員長

#### (開催状況)

	開催日
第1回	令和4年11月15日(火)
第2回	令和4年12月20日(火)
第3回	令和5年1月17日(火)
第4回	令和5年2月21日(火)